

だ感がある。政友會内閣の後を享けて民政黨内閣が出現し、中間朦朧内閣が一蹴されたことは、健全なる議會政治の發達の爲に當然なりと信する。新内閣が一般より好感をもつて迎へられつゝあるは未會有の反動内閣に比較して相對的人氣をかち得たるものに過ぎないものであつて、若し新内閣に對し眞に民衆政治を實現するの意識と能力とを有するもの、如く期待することは甚だしい誤謬でなければならぬ。彼等が根本に於いて有産階級の支持に依つて立つものであることは、政友會内閣と毫も變る所はない。唯新内閣が前政友會内閣より一步前進して各般の社會立法、政治的自由擴大等の爲に、新政を施さんと誓約し來つたことは、我等の明かに記憶するところであつて、我等は新内閣が果して朝に立つて國民に對する公約を實行するや否や嚴重に監視する決心である。

我等は全無産階級の意志を代表して、出来る限り無産階級の要求を新内閣に強要すべく凡ゆる奮闘を惜しまざるものである。

昭和四年七月二日

社會民衆黨中央執行委員會

第十二回中央執行委員會

月日 七月十一日

出席 鈴木、片山、小池、小山、赤松、松下、山崎、山川(堀内代)、岡崎、宮崎、龜井

協議事項

- 一、安部委員長歸朝に關する件
- 二、民政黨施政方針に關する件
過日發表になつ民政黨施政方針に對し嚴密なる對策案を必要とする爲左記起草委員を擧げ原案作成に當らしむ。
小池、赤松、松永、松下、宮崎
- 三、失業問題對策に關する件
當面せる失業問題に對し對策案作成のため左記起草委員を擧げて原案を作成せしむ。(委員、片山、小山)

第十三回中央執行委員會

月日 七月十八日

出席 片山、赤松、小池、島中、龜井、宮崎、松永、川村、

協議事項

七月十九日、片山、赤松、小池、島中、龜井、宮崎、松永、川村、

二、現内閣社會政策調査會に關する件

新聞紙上其他に傳へらるゝ處に依れば、今開設する現内閣の社會政策調査會に我黨代議士安部、鈴木兩名を加人する風聞あるに對し、

- 1、大臣洩れの不平分子のかき集めの爲
- 2、社民黨の吸引策
- 3、反政友勢力の糾合を計り來る政界及選舉に備へる

等々の不純なる意圖に基くこと明瞭であるため右調査委員會加入は絶對反對であると共に右調査會の正體暴露に努むること。

- 三、滿州某重大事件の公表に關する件
聲明書を發表し該事件の公表を政府に迫ること。

聲明書

滿州某重大事件は前内閣時代に發生し、しかして前内閣の致命傷となり國民の濃厚なる疑惑

を醸成するに至つて、民政黨は在野時代にその内幕の公開を要するに至つたのであつた。然るに現内閣は本問題の發表を躊躇し、依然として國民の疑惑を放置してゐる。

我等は政治の公明を云々する現内閣が在野時代に於ける言責を重んじ、一日も早く、此の問題の一切の真相を國民に公表すべき義務ありと信す。

七月十八日

中央執行委員會

四、ガス闘争に關する件

料金供托者に對する瓦斯會社の瓦斯供給停止に對して敢然と抗争しつゝある瓦斯料金供托同盟を積極的に應援する事。

第十四回中央執行委員會

月日 七月二十五日

出席 安部、片山、赤松、小池、小山、宮崎、島中、松永、龜井

報告及協議事項

- 一、出版部報告
- 二、事業部報告
- 三、黨勢報告